

デジタルアセットに関する意識調査報告書

2023年6月23日 株式会社クニエ





目次



- **■** はじめに
 - 本報告書の目的と概要
 - 本報告書の用語説明
- デジタルアセットに関する意識調査結果
 - 調査結果のサマリー
 - ST・NFT・暗号資産に関する認識
 - 各種デジタルアセットについての認識
 - 普及活動に対する認識
 - デジタルアセットに投資したい理由
 - デジタルアセットに投資したくない理由

■ 回答結果

- 回答者属性
- デジタルアセットの認知度
- ST認知度と属性
- デジタルアセットの魅力
- 各種デジタルアセットの魅力
- デジタルアセット型と従来型の比較
- デジタルアセットの一口当たり発行価額
- デジタルアセットの普及活動
- デジタルアセットへの投資意欲
- デジタルアセットに投資したい理由
- デジタルアセットに投資したくない理由

はじめに

本報告書の目的と概要



近年、ブロックチェーンを用いた新たなビジネスの形態として、セキュリティトークン(以下、ST)やNFTといったデジタルアセットの活用への関心が高まり、IT企業のみならず金融機関やサービス企業においてもデジタルアセットに関連した事業が行われ始めています。一方で、当該事業の対象となる一般投資家のデジタルアセットに対する認識・現状・期待についての調査結果はほとんど存在しておりません。

そこで、セキュリティトークンの応用および普及に関わる活動の一環として、日本セキュリティトークン協会(JSTA)よりクニエが依頼を受け、一般投資家を対象としたデジタルアセットに対する認識・現状・期待に関する意識調査の実施・分析を行い、本報告書を作成しました。

クニエは、本報告書が、デジタルアセット関連事業企画に現在取り組む企業、今後取り組みを始めたい企業の一助となることを願っています。

◆ 本調査の概要

対象者条件	アンケート回答時点で、過去1年以内にインターネット経由での投資経験のある一般投資家
手法	インターネット調査
回答者数	558名(回答者属性はp.17参照)
アンケート調査期間	2023年5月15日~5月16日
集計·分析手法	アンケート回答をもとに、割合や回答数などを図や表に示しました。 各設問の回答とスクリーニング設問への回答を合わせてクロスセクション分析を行うことにより、それぞれの回答における回答者の属性等の分析を行いました。

本報告書の用語説明



本報告書においては、デジタルアセットを下記のように定義し、文中で以下の用語を用いる。

セキュリティトークンやNFTなど、ブロックチェーン上で発行されるデジタル形式の資産

◆用語	◆説明
ST	Security Token(セキュリティトークン)の略称で、分散型台帳上で発行・管理されるデジタルな有価証券をいう。 従来の証券と比較し、小口化・取引の低コスト化・投資対象の多様化などのメリットが存在する。
NFT	No-Fungible Token(非代替性トークン)の略称で、代替できない一点もののアートやアイテムなどに付与される分散型台帳技術を活用したデジタルデータのことをいう。
ステーブルコイン	法定通貨との交換比率の固定やコインの流通量を調整するアルゴリズムの導入によって価格の安定性を実現するように設計された暗号資産をいう。 たとえば日本円のステーブルコインであれば、1コインが1円と交換できるよう設計される。
CBDC	Central Bank Digital Currency(中央銀行デジタル通貨)の略称で、中央銀行が発行するデジタル形式の法定通貨をいう。暗号資産とは異なり、現在流通されている法定通貨として国家が価値を保証する。

デジタルアセットに関する意識調査結果



デジタルアセットに対する 投資家の認識

STを認知している投資家は現役世代やビジネス実務家が多く、NFTや暗号資産と比較すると少数であった。知っている人々からは、NFTや暗号資産よりも魅力があると判断されていた。

STは現役世代や実務家に知られている。

- 1 STを「知っている」層は「知らない」層よりも「現役世代」が占める割合が20.0pt高く、「ビジネス実務家」が占める割合が25.8pt高かった。
- 2 STを知っている層はNFTと暗号資産も知っている。 STを「知っている」層は「知らない」層よりも「NFTを知っている」割合が63.0pt高く、「暗号資産を知っている」割合が43.0pt高かった。

STの認知度は低いが、魅力度は高い。

STを認知している人数はNFTや暗号資産よりも少なかった。

一方で、「STを知っている」層で「STに魅力がある」と回答した投資家の割合は、「NFTを知っている」層で「NFTに魅力がある」と回答した投資家の割合および、「暗号資産を知っている」層で「暗号資産に魅力がある」と回答した投資家の割合を大きく上回っていた。



デジタルアセットの魅力と 普及への課題

デジタルアセットを普及させるためには、デジタルアセットを知らない層に対してはセミナーやCMなどの情報提供が、知っている層に対しては社会的意義のあるアセットの増加や投資機会の提供などデジタルアセットの魅力の拡充が重要である。

NFTのほうが、デジタルアセット型に魅力を感じている人の割合が多い。 STの対象となるアセットよりもNFTの対象となるアセットのほうが、「デジタルアセット型に魅力がある」と回答した投資家の割合が高 かった。 対象がSTを知っているか否かで、効果的なデジタルアセットの普及活動が異なる。 効果的なデジタルアセット普及活動について、「STを知っている」層は社会的に意義のあるデジタルアセットの発行支援の回答割合が 高かった。一方で、「STを知らない」層はセミナー開催やCM・インターネット広告の回答割合が高かった。 投資家はデジタルアセットに投資機会を求めている。 6 「デジタルアセットに投資したい」と回答した投資家は、その理由として、高い利回りや取引時間の拡大よりも小口化や投資機会の拡 大を回答する割合が高かった。 デジタルアセットに関する情報不足が投資を躊躇させている。 「デジタルアセットに投資したくない、もしくはわからない」と回答した投資家は、その理由として、売買タイミングの制約よりも、仕組みや 価値の不明点を回答する割合が高かった。

ST・NFT・暗号資産に関する認識



現役世代やビジネス実務家にSTが知られている。

やそう思わない」とした回答を「知らない」として集計



- STの認知度について、STを「知っている」層は「知らない」層よりも、現役世代の割合が20.0pt高い。
- 職業別の観点からは、STを「知っている」層は「知らない」層よりも実務家の割合が25.8pt高い。
- 現役世代や実務家には一定程度認知されているが、 引退世代や実務家以外は認知割合が低い結果と なっている。
- 引退世代や実務家以外の認知度向上が課題といえる。

分析に用いた回答結果:

p.18 デジタルアセットの認知度、p.19 ST認知度と属性

※本調査では「実務家」を公務員、経営者・役員、会社員(事務系、技術系、その他)、自営業・自由業とし、「実務家以外」を専業主婦/主夫、パート・アルバイト、無職、その他と定義 ※STの認知度に関する質問に「そう思う」、「ややそう思う」とした回答を「知っている」とし、「そう思わない」「や

ST・NFT・暗号資産に関する認識



STを知っている層はNFTと暗号資産も知っている。



※STの認知度に関する質問に「そう思う」、「ややそう思う」とした回答を「知っている」とし、「そう思わない」「ややそう思わない」とした回答を「知らない」として集計

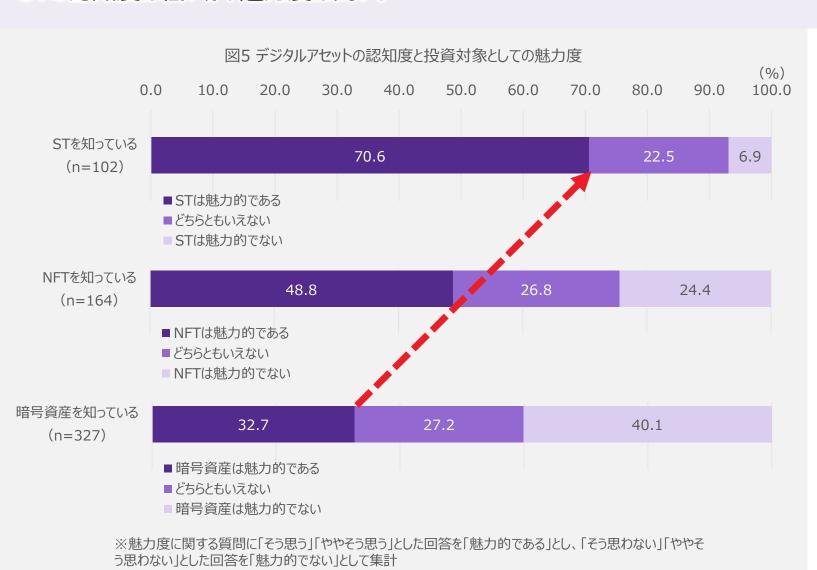
- STを「知っている」層は「知らない」層よりも、「NFTを知っている」割合が63.0pt高い。
- STを「知っている」層は「知らない」層よりも、「暗号資産を知っている」割合が43.0pt高い。
- STを知っている層は知らない層よりも、NFTと暗号資産に関する認知度も高いという結果となった。
- STを知っている層はデジタルアセット分野に精通している層が多いと考えられる。

分析に用いた回答結果: p.18 デジタルアセットの認知度

ST・NFT・暗号資産に関する認識



STの認知度は低いが、魅力度は高い。



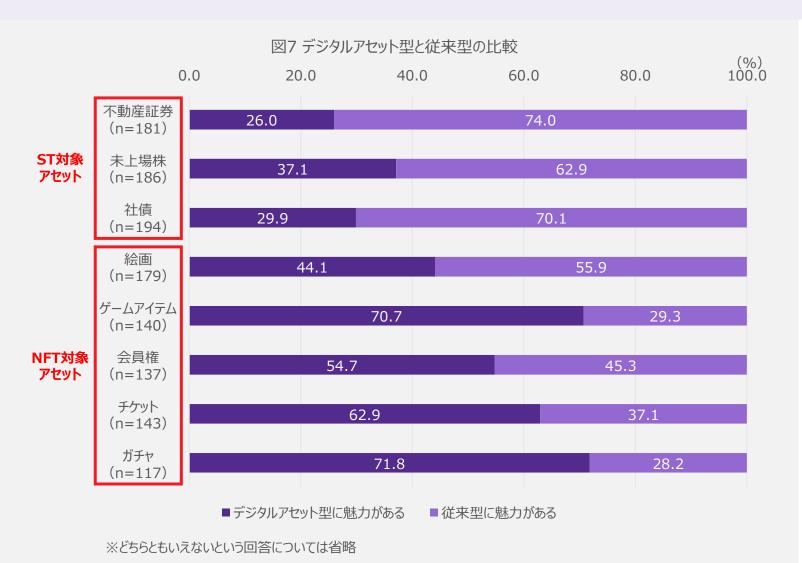
- ■「STを知っている」層で投資対象として、「STは魅力的である」と回答した割合は70.6%と高い。
- ■「NFTを知っている」層で投資対象として、「NFTは魅力的である」と回答した割合は48.8%と約半数であった。
- 「暗号資産を知っている」層のうち投資対象として、 「暗号資産は魅力的である」と回答した割合は 32.7%と低い。
- STはNFTと暗号資産よりも知られていないが、投資対象としての魅力度は、STが最も評価されていることから、STが持つ魅力を活かすことによって、認知度向上につなげられる可能性がある。

分析に用いた回答結果: p.18 デジタルアセットの認知度、p.20デジタルアセットの 魅力

各種デジタルアセットについての認識



NFTの方が、デジタルアセット型に魅力を感じている人の割合が大きい。



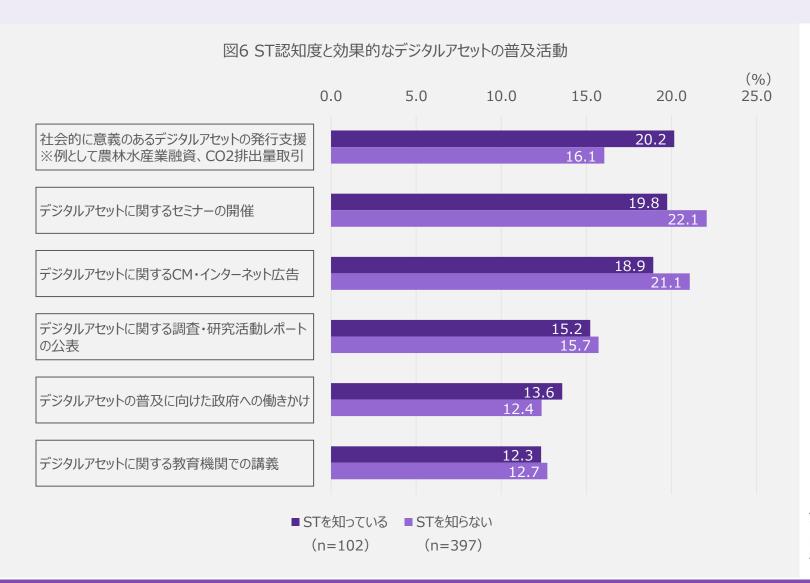
- STの対象となるアセットについては、「従来型に魅力がある」とする回答の方が多かった。
- NFTの対象となるアセットについては、絵画を除いて「デジタルアセット型に魅力がある」とする回答の方が多かった。
- 特に、すでにデジタル空間で提供されているゲームアイ テムとガチャについては70%以上が「デジタルアセット型 に魅力がある」と回答していた。
- NFTよりもSTの方が魅力があるとする回答が多かった (p.21 各種デジタルアセットの魅力参照) 一方で、 図7ではNFTの方がSTよりも「デジタルアセット型に魅力がある」という回答が多かった。
- STは従来型のアセットが普及している大きな市場を対象としており、NFTは従来型のアセットがあまり普及していない小さな市場を対象としていると考えられる。

分析に用いた回答結果: p.22 デジタルアセット型と従来型の比較

普及活動に対する認識



対象がSTを知っているか否かで、効果的なデジタルアセットの普及活動が異なる。



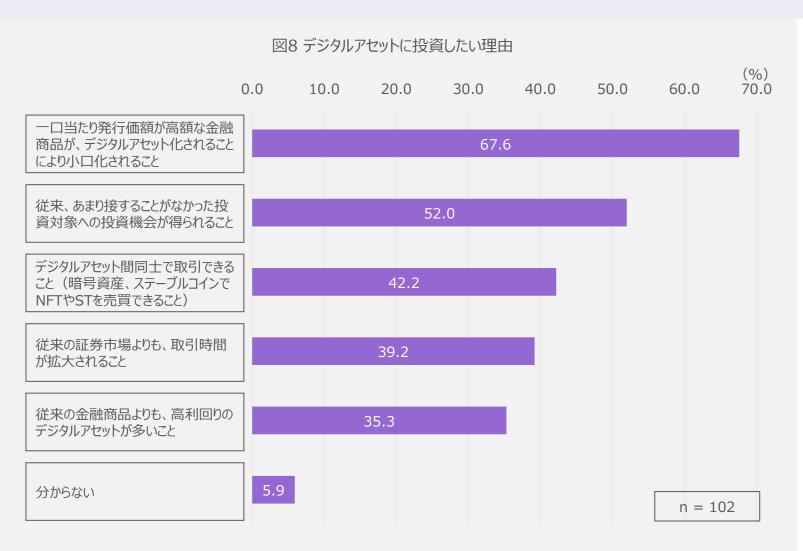
- ■「STを知っている」層は、デジタルアセットの普及活動として、「社会的に意義のあるデジタルアセットの発行支援」が最も効果的だと評価していた。
- ■「STを知らない」層は、デジタルアセットの普及活動として、「デジタルアセットに関するセミナーの開催」と「デジタルアセットに関するCM・インターネット広告」を効果的だと評価していた。
- ■「STを知っている」層は、デジタルアセットの提供価値の向上が普及につながると考えているのに対し、「STを知らない」層はデジタルアセットに接する機会の増加が普及につながると考えている。
- デジタルアセットの魅力を向上させる取り組みと、接する機会を創出する取り組みを合わせて行うことが、デジタルアセットの普及に効果的であると考えられる。

分析に用いた回答結果: p.18 デジタルアセットの認知度、p.24 デジタルアセットの 普及活動

デジタルアセットに投資したい理由



投資家はデジタルアセットに投資機会を求めている。



- ■「デジタルアセットに投資したい」と回答した理由として、 金融商品の小口化と投資機会の拡大が50%以上 の回答者に選ばれていた。
 - ※各種デジタルアセットに対し、投資家がふさわしいと考える一口当たり発行価額は、不動産証券など現在も価額が大きいものに対しては「1万円以上」が占める割合が高く、ガチャなど小さいものに対しては「1万円未満」が占める割合が高い。(p.23 デジタルアセットの一口当たり発行価額参照)
- 取引時間の拡大と利回りの高さは4割弱の回答者に 選ばれていた。
- 小口化や投資機会の拡大が主な投資理由に挙げられ、高い利回りや取引時間の拡大は投資理由としては少数にとどまる結果となった。
- 投資家はデジタルアセットに対して純粋な金銭的な収益よりも、幅広い投資機会の提供を求めていると考えられる。

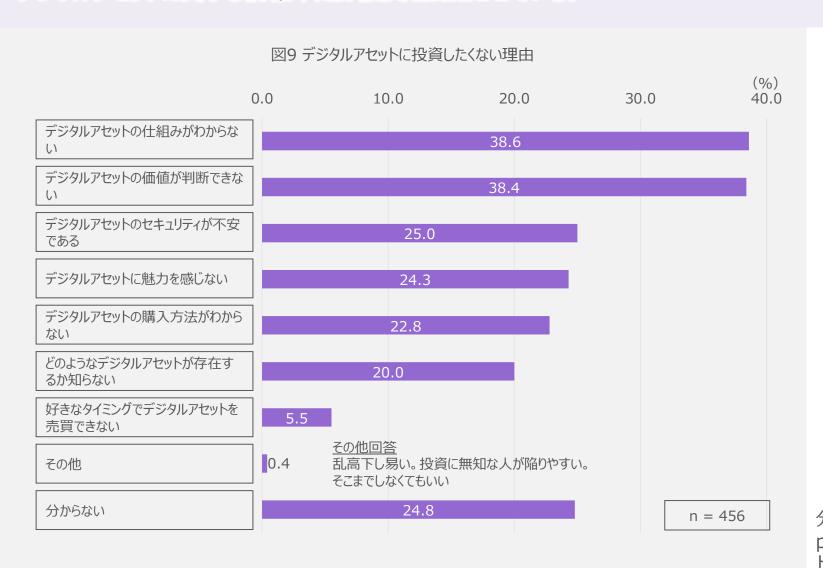
分析に用いた回答結果:

p.25 デジタルアセットへの投資意欲、p.26 デジタルアセットに投資したい理由

デジタルアセットに投資したくない理由



デジタルアセットに関する情報不足が投資を躊躇させている。



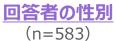
- ■「デジタルアセットに投資したくない」と回答した理由として、デジタルアセットの仕組みがわからないことと、デジタルアセットの価値が判断できないことが30%以上の回答者に選ばれていた。
- 好きなタイミングでデジタルアセットが売買できないことについては、約5%の回答者が選択していた。
- 投資したくない理由として、主にデジタルアセットの仕組みや価値に不明な点があることが挙げられ、デジタルアセットの売買タイミングの制約は少数にとどまる結果となった。
- デジタルアセットの商品や制度の魅力不足ではなく、 仕組みや価値に関する情報不足が、デジタルアセット への投資を妨げる要因になっていると考えられる。

分析に用いた回答結果: p.25 デジタルアセットへの投資意欲、p.27 デジタルアセットに投資したくない理由

回答結果

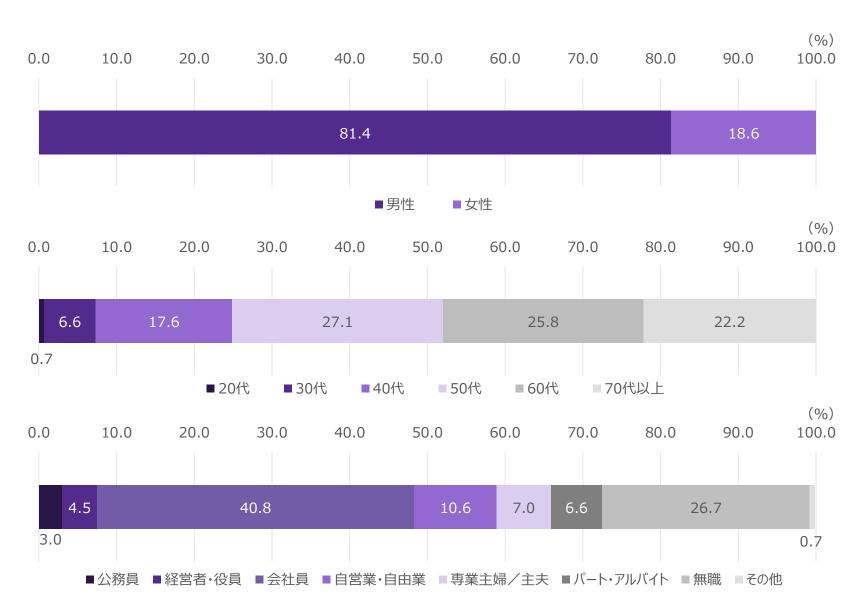
回答者属性





<u>回答者の年齢</u> (n=583)

<u>回答者の職業</u> (n=583)

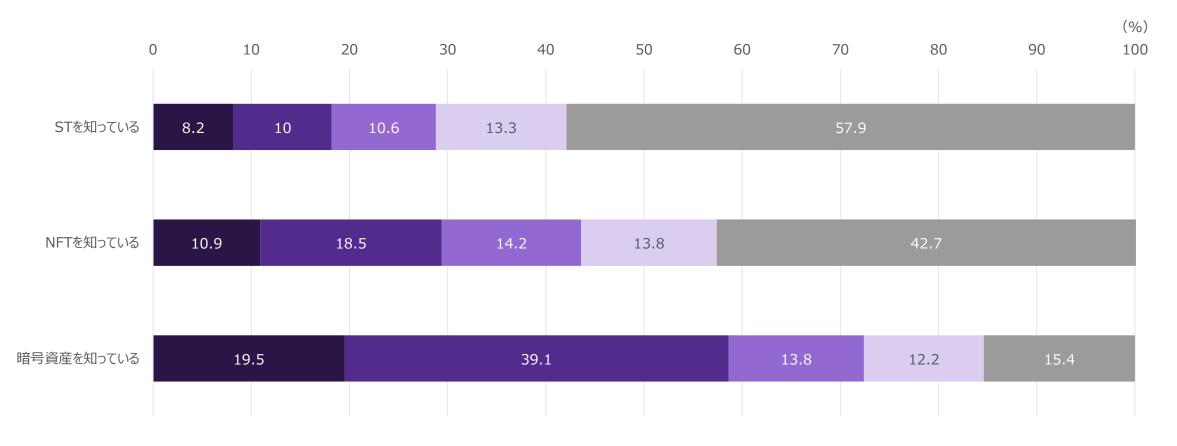


デジタルアセットの認知度





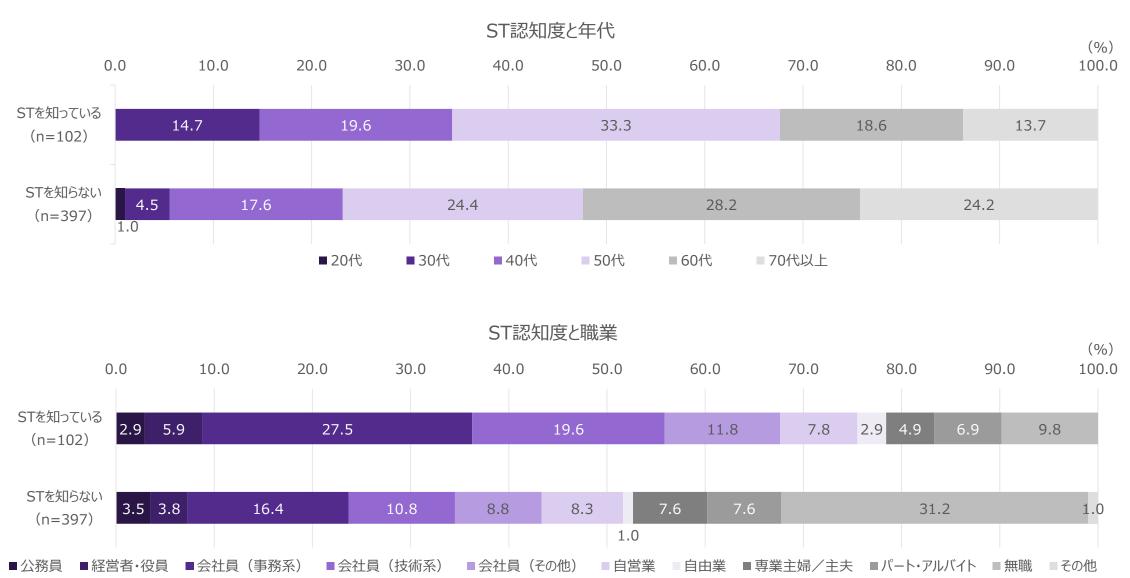




■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

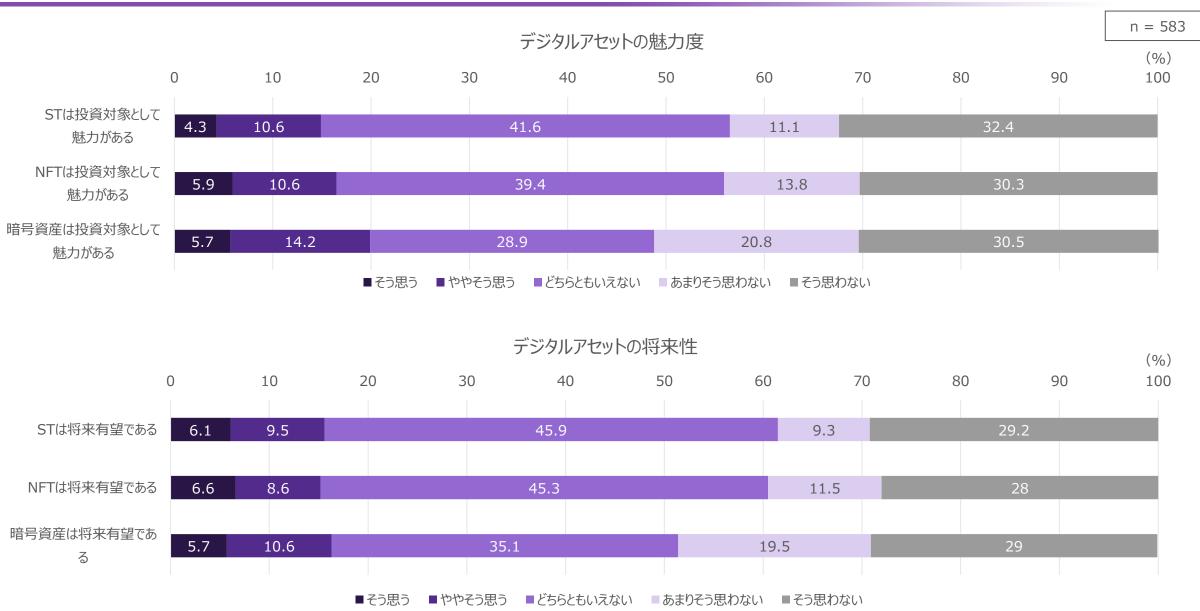
ST認知度と属性





デジタルアセットの魅力



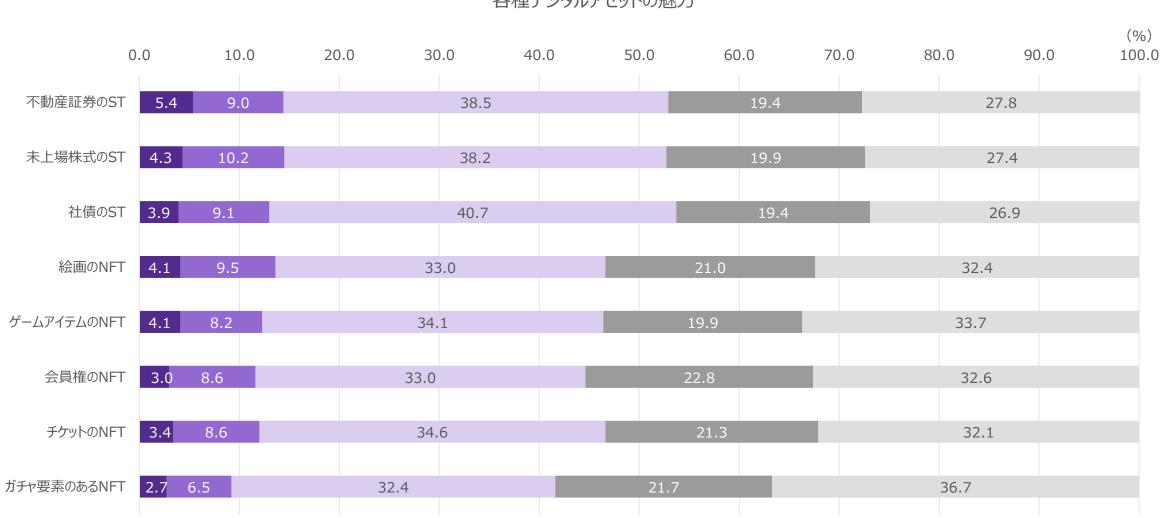


各種デジタルアセットの魅力



n = 583

各種デジタルアセットの魅力



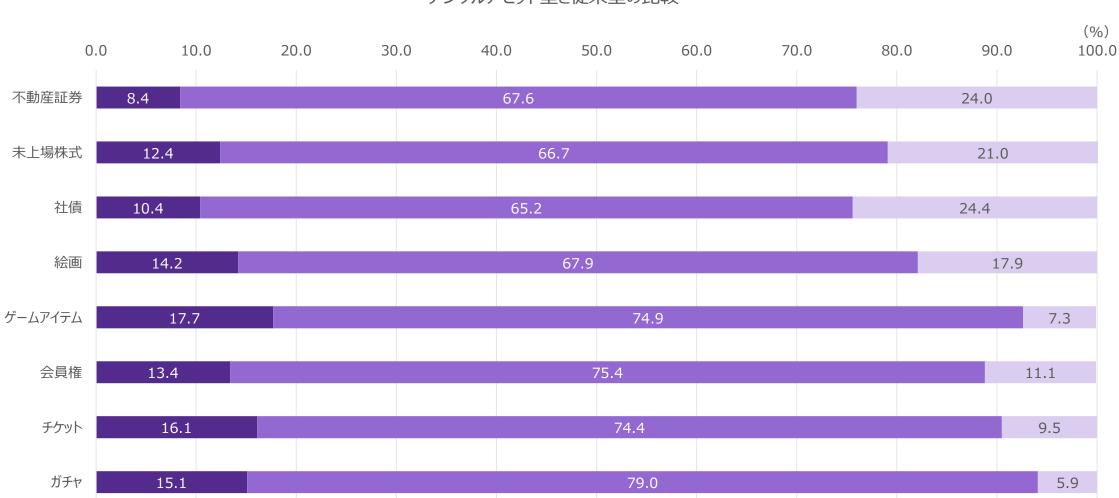
■魅力がある ■やや魅力がある ■どちらともいえない ■あまり魅力がない 魅力がない

デジタルアセット型と従来型の比較



n = 583





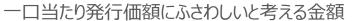
■どちらともいえない

■ 従来型に魅力がある

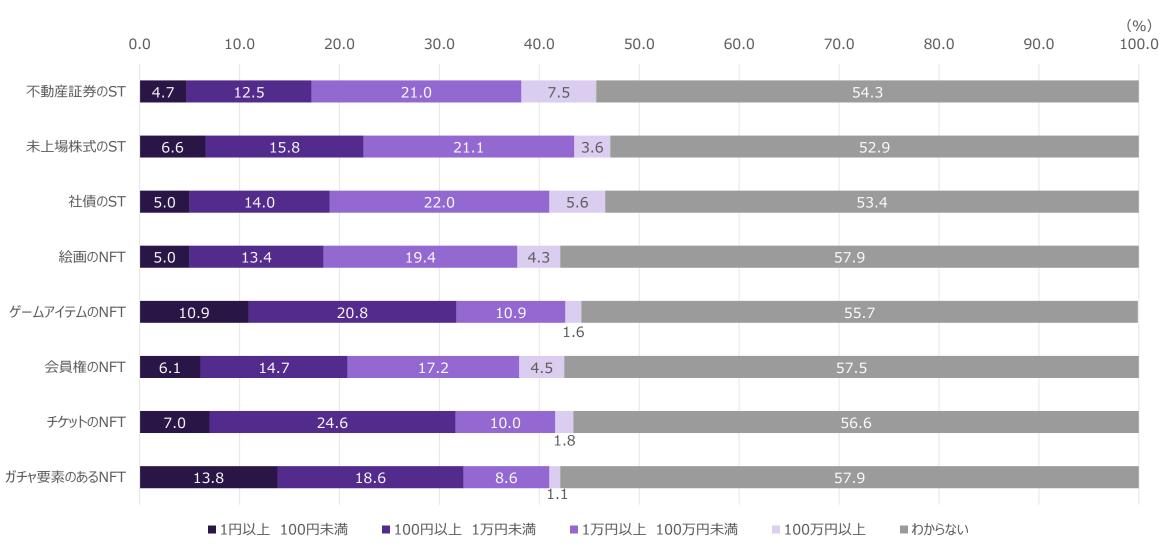
■デジタルアセット型に魅力がある

デジタルアセットの一口当たり発行価額



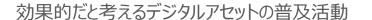






デジタルアセットの普及活動





n = 583



デジタルアセットに関するセミナーの開催

デジタルアセットに関するCM・インターネット広告

社会的に意義のあるデジタルアセットの発行支援 ※例として農林水産業融資、CO2排出量取引

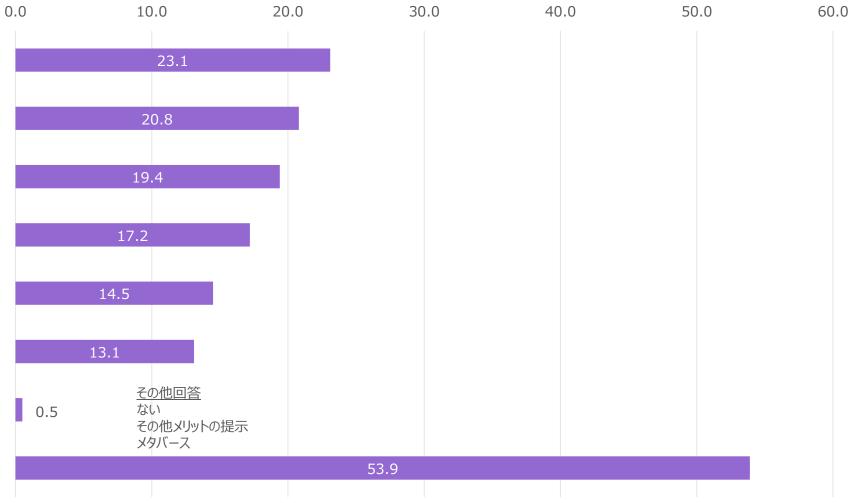
デジタルアセットに関する調査・研究活動レポート の公表

デジタルアセットに関する教育機関での講義

デジタルアセットの普及に向けた政府への働きかけ

その他

分からない

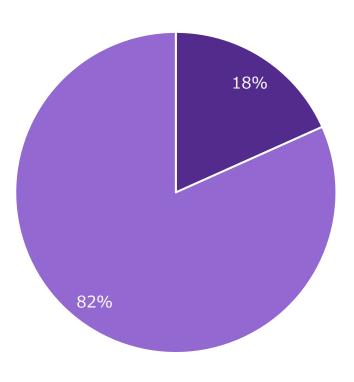


デジタルアセットへの投資意欲



デジタルアセットへの投資意欲



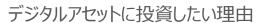


■デジタルアセットに投資したい

■ デジタルアセットに投資したくない、もしくはわからない

デジタルアセットに投資したい理由





n = 102

一口当たり発行価額が高額な金融商品が、 デジタルアセット化されることにより小口化さ れること

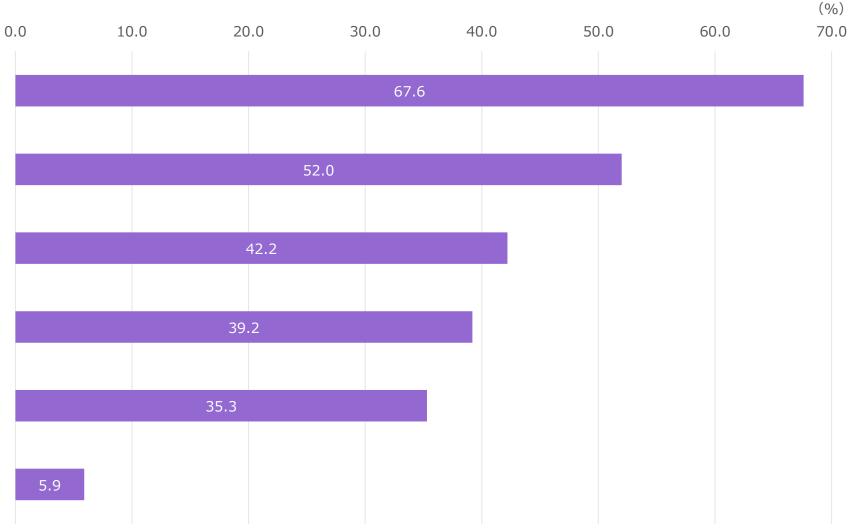
従来、あまり接することがなかった投資対象 への投資機会が得られること

デジタルアセット間同士で取引できること (暗号資産、ステーブルコインでNFTやST を売買できること)

従来の証券市場よりも、取引時間が拡大 されること

従来の金融商品よりも、高利回りのデジタ ルアセットが多いこと

分からない



デジタルアセットに投資したくない理由





n = 456

(%)

40.0

デジタルアセットの仕組みがわからない

デジタルアセットの価値が判断できない

デジタルアセットのセキュリティが不安であ

デジタルアセットに魅力を感じない

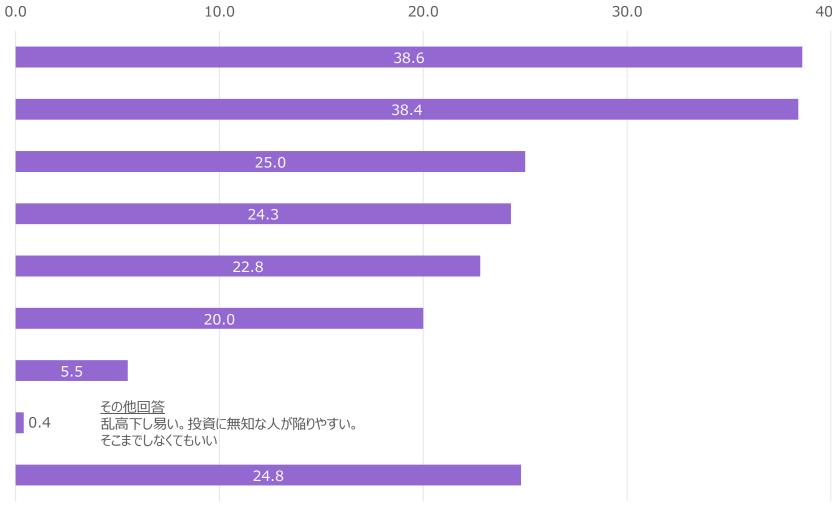
デジタルアセットの購入方法がわからない

どのようなデジタルアセットが存在するか知 らない

好きなタイミングでデジタルアセットを売買 できない

その他

分からない



本報告書について



【成果物に関する留意事項】

- デジタルアセットに関する意識調査報告書(以下「本報告書」といいます)の著作権は、株式会社クニエが保有します。
- 本報告書のいかなる部分についても、無断で複製、転載、転送または販売等を行わないようにお願いいたします。また、本報告書の全部または一部を引用される場合は、出所として「株式会社クニエ」と明記いただき、掲載日・掲載媒体・引用箇所などの情報につきましては巻末の「お問い合わせ先」の担当者までお知らせください。
- 本報告書は、作成時における最新かつ正確な情報提供に努めておりますが、内容の正確性または完全性を保証するものではありません。特定の目的への適合性や第三者の権利に対する非侵害性について、明示または黙示を問わず、いかなる保証を行うものではなく、その他本報告書の使用に起因して生じる結果等について何らの保証を行うものでもありません。
- 本書に含まれるリンクや引用を通じてアクセス可能な情報(第三者のwebページを含む、テキスト、グラフィック、ロゴ等のコンテンツ)についてはそれぞれ該当する 第三者が権利を有します。当社は、これらの情報をもとに一般に提供する目的として記載するものであって、取引の推奨や勧誘をするものではなく、また正確性および完全性を保証するものでもありません。



クニエについて

■会社名	株式会社クニエ QUNIE CORPORATION
■代表者	代表取締役社長 山口 重樹
■設立	2009年 7月 1日
■事業内容	経営戦略・企業変革を実現するためのコンサルティングサービスの提供
■株主	株式会社NTT データ 100%
■従業員数	1,000名
■資本金	95百万円
■本社	〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイスイーストタワー11F TEL.03-3517-2292 FAX.03-3517-2293



お問い合わせ先

本報告書に関するお問い合わせ・ご確認は以下までお願いいたします。

株式会社クニエ

金融サービス担当: digitalasset@qunie.com

